

97.4%

65 歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子： 分母のうち入院 3 日目までに栄養ケアアセスメントが行われたことがカルテに記載された患者数

分母： 当該月の65 歳以上の退院患者数

活動のきっかけ

入院早期に栄養リスクを評価し適切な介入をすることで、在院日数の短縮や予後改善に繋げることが出来る。

改善活動部門

- 栄養管理部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">入院早期に栄養介入し、診療状況や栄養状態、摂食嚥下機能に応じた栄養計画を作成し、適正な栄養管理に繋げることができた。栄養指導対象者に対し、医師の指示以外に管理栄養士から栄養指導の提案を行った結果、医師単独の取り組みと比較し、指導件数を約7割増加させることができ、栄養指導を拡大できた。	<ul style="list-style-type: none">栄養管理計画の実施後、入院中に栄養状態の維持、改善、低下防止に繋がったというアウトカム指標を作成し、栄養管理の質の向上を目指す必要がある。